

歴史の息吹を

絶やさず未来へ

問文化課

(市内線4316)



■国史跡「中山道」の落合宿本陣

落合宿は、山深い木曾路を目前に控えた美濃国最東端の宿場町で、多くの旅人が訪れました。中でも、大名や公家などの高貴な人々の宿泊や小休に使われた落合宿本陣は、岐阜県内で唯一その姿を残しています。2010（平成22）年2月には重要な交通遺跡として、国史跡中山道に追加指定されました。国史跡とは「我が国にとって歴史上・学術上価値の高い遺跡のうち重要なもの」のことであり、市内では、落合宿本陣のほ

かに苗木城跡が指定されています。

落合宿本陣の敷地内には主屋、土蔵、離れ、渡り廊下といった歴史的な建物が残っています。その建築・改修の歴史は、江戸時代から明治維新を経て、変わりゆく中山道と当時の社会との関係を理解する上で非常に重要なものとなっています。

■ボランティアガイドが活躍中

観光やまちづくりの新たな拠点としても期待される落合宿本陣では、12月～2月を除く毎週日曜日と祝日、主屋や庭園（表側）を無料公開しています。

その担い手となっている落合宿本陣ガイドボランティアの会の皆さんは、自ら学んだ成果を取り入れたガイドを行う傍ら、湿気による建築物の劣化を防ぐための空気の入替えや、草刈りなどにも積極的に取り組



んでいます。また、学生有志による英語ガイドなども始まり、ボランティアの裾野は広がりがつつあります。

■貴重な歴史資源を残すために

創建から最長200年余り経った建物群は、老朽化や雨漏りなどで蓄積した歪みで安全性が損なわれ、所々シートや補強材で覆われています。

市では、これまでに修理や補強を繰り返してきました。令和6年度から令和7年度にかけては、本格的な改修に向けた整備基本計画の策定を進めています。

令和8年度から10年以上の期間をかけて実施する本格的な保存整備工事には数億円規模の費用が必要となります。歴史ある建物を未来へつなぐため、ご支援をお願いします。



▲シートや補強材に覆われた離れ



寄付を募っています！

岐阜で唯一本陣建築を残す「落合宿本陣」。

今、守らなければ消えてしまう歴史を、未来へつなぐ整備プロジェクト

令和6年度までにいただいた寄付額は**1億8,500万円**を超えました！

ふるさと納税を活用したクラウドファンディング

- ☑ プロジェクト化された地域課題を応援！
- ☑ 寄付金控除が受けられる！
- ☑ 自治体が用意した返礼品を選択できる！

ぜひ、中津川市外にお住まいの知人・友人の皆さんに応援いただけるようPRをお願いします。市民の皆さんからの応援もお待ちしています。



ふるなび



ふるさとチョイス

※市民の皆さんが中津川市に寄付する場合は返礼品を受け取ることはできませんが、寄付金控除を受けることは可能です。

令和**7**年度目標額 **7,700万円**